

## 第 5 学年道徳学習指導案

日 時 平成 17 年 9 月 28 日 (水) 5 校時  
対 象 5 年生(男子 16 名 女子 17 名 計 33 名)  
指導者 高橋 康子

1 主題名 大切な自然を次の世代に (自然愛, 環境保全 3 - (1))

2 資料名 命を育む森 (自作資料)

3 主題設定の理由

(1) 価値について

学習指導要領第 3 章, 道徳の第 5 学年及び第 6 学年の内容の 3 「主として自然や崇高なものとの関わりに関すること」の (1) に「自然の偉大さを知り, 自然環境を大切にする。」とある。この内容は, 自然や動植物との共存のあり方を積極的に考え, 自分にできる範囲で自然環境をよくしようとするものである。これは, 中学年の「自然のすばらしさや不思議さに感動し, 自然や動植物を大切にする。」を 発展させたものである。

生活の都市化が進んでいる今, 人間は自然の恩恵によって生きていることを忘れがちである。人間の便利さを追究することを優先し, 自然を破壊していく現実が多い時代である。こうした時代にあって, 動植物の宝庫である森を守り, 子どもたちのために維持し育てていこうとする人々がいることを知り, 考えていくことは, 身近な自然の存在に気付き, 自然の大切さについて考えるきっかけになる。

この期の児童は, 自然に対する認識が進んでくる。さらに知的な関心も増してくる。しかし, 自然と親しむ機会が少ないため, 自然の恩恵を受けて生活していることの認識は薄い。身近な自然を守り伝えようとする人々の取り組みから, 自然に対しての積極的な関わり方を考えさせていきたい。

(2) 児童について

児童は, 総合的な学習の時間に, 廃材を使って木工活動に取り組んでいる方のお話を伺って, 捨てられる木に新たな命を吹き込み, 木の特徴や持ち味を生かして使うことの大切さ, 木の貴重さを学んだり, 微生物を使って水の浄化の方法を学習したり, エネルギーの使い方によって地球温暖化につながることを学習したりしてきた。また, 区界での合宿活動を通して, 森や樹木の役割, 川の成り立ちや働きなど自分たちの生活と自然の関わりについて学ぶことができた。徐々に, 生活と自然との関わりについて考えるようになってきているが, 自分たちが自然の中で生きているという認識は, まだまだ薄い。

このような児童に, 自分たちの住む地域の森を守り, 次の世代に伝えていこうと活動し, それを実現させた人たちがいることを知らせ, 自分も自然に対してどう関わっていくか考えさせ, 自分にできることは何かを積極的に考えていこうとするきっかけにしたい。

(3) 資料について

本資料は, 平成 12 年 12 月 26 日の岩手日報に掲載された記事である。盛岡市松園ニュー・タウン北側に位置する四十四田ダムの遊水池としてのくぼ地に, 昭和 61 年ゴルフ練習場建設が表明された。この土地は子どもたちの人気の遊び場だった。この計画を知った上田さんら住民約 20 人が「子どもの遊び場を奪ってはいけない。」と訴え, 「子ども自然公園をきれいにする会」を結成。以来, 住宅地周辺に多くの動物や昆虫類が生息する貴重さを訴え, 署名請願運動やくぼ地取得のための募金活動を展開した。地域の子どもたちに自然環境の尊さと呼びかけてきた。ついに, 10 年間の運動が実を結び, 自然観察園として整備が決まった。という内容の記事である。

身近な自然環境を残すために, 地域の人たちが立ち上がり活動した思いと実践力について考えさせることで, 自らできることを考え, 実践しようとする気持ちを育てるために適した資料であると考え。

(4) 指導の態度

「気づく」では, 盛岡市では絶滅したと思われていたウラジロミドリシジミがこの森に生息していたことを紹介し, この森の貴重さに気づかせたい。「見つめる」では, 10 年目にやっと森を守る活動が理解され実を結んだことに気づかせたい。「つかむ」では, 10 年間の活動をしていく上での思いや願いを考えさせ, 自分たちがどのように行動していくことが, 自然を守っていくことになるのか考えさせていきたい。「広げる」では, 日常生活の中で, 自然を守ることにつながる行動を交流させることで, 積極的に自然と関わろうとする心を育てたい。「まとめる」では, 現在の「子ども自然公園をきれいにする会」の活動を紹介し, 自然の大切さを伝えるために真剣に取り組む姿勢を学ばせ, 実践意欲につなげたい。

(1) ねらい 自然の偉大さを理解し、自然との共存のあり方を考え、自然環境を守り、保全していかうとする心情を育てる。

(2) 展開の概要

段階	学習活動と主な発問	予想される児童の反応	指導上の留意点
気づく 3分	1 ウラジロミドリシジミの写真を見る。 この写真を見て、どんなことを感じますか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・きれいな色のチョウだ。</li> <li>・見たことのないチョウだ。</li> <li>・珍しいチョウだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成3年に松園子ども自然公園で、見つかったことを知らせる。</li> </ul>
見つめる	2 資料を読み感想を發表し、学習課題を確認する どんな感想をもちましたか。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こういう公園があったことは知らなかった。</li> <li>・森が公園として残ってよかった。</li> <li>・森を残すために、10年間もがんばったのだな。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10年間の活動で、やっと、森の存在の大切さを分かってもらえたことに気付かせる。</li> </ul>
	自然を守っていくことについて考えよう。		
	<p>3 自然を守っていくことについて話し合う。 ゴルフ練習場の建設に賛成した人たちは、どんな考えから賛成したんだろう。</p> <p>上田さんたちは、どんなことを考えて、森を残す運動をしていったと思いますか。</p> <p>自然を守っていくことについてどう思いますか。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・この地域に住んでいる大人の人のためのスポ - ツ施設がほしい。</li> <li>・住宅地の側にあるから、手軽に練習できて、便利だろう。</li> <li>・この森がなくても生活に影響しないだろう。</li> <li>・すばらしい森を残して、子どもたちに自然のよさを伝えたい。</li> <li>・貴重な動物を守るためにも、この自然を残したい。</li> <li>・人間の手では造れない森をなくしてはいけない。</li> <li>・ゴルフ練習場を造ると、周りの自然も次第に壊されていくだろう。</li> <li>・人間のための施設も大切だから考えて造らなければならない。</li> <li>・自然を汚さないことも守ることにつながる。(水、ごみ)</li> <li>・自然を守っていくことは、自分たちを守っていくことになる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・松園地区が造成されて造られた団地であることを紹介する</li> <li>・自然のままの森として子どもたちに親しまれていたことをビデオで紹介する。</li> <li>・上田さんたちが運動を進めている時期に、この森で、成瀬さんがウラジロミドリシジミとハヤシミドリシジミの2種類のチョウを発見したことでみんなが、さらに、この森のすばらしさに気付くことになったことを確認する。</li> <li>・自然を守るためには、わたしたちの気持ちや行動が大切なことに気付かせたい。</li> </ul>
広げる 10分	4 日常生活の中で自然を守っていることにつながることを考える。 自然を守っていくために今していることを思い出してみよう。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水の使い方、洗剤の使い方など川を汚さない取り組み。</li> <li>・ごみを出さない工夫、ごみの出し方の工夫。</li> <li>・木を無駄にしないで大切に使う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合的な学習、社会科、理科等の学習と関連させ、自分の経験について考えさせる。</li> </ul>
まとめる 3分	5 松園子ども自然観察園をきれいにする会の活動を紹介する。 守り続けている人がいます。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在も続けて、自然のすばらしさを伝え続けているんだ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「松園自然観察園をきれいにする会」の現在の活動を紹介する。</li> </ul>